

認定看護師ニュースレター第82報

2025年7月発行
脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師
山口淳也

第51回 日本脳神経看護学会学術集会



昨年度、福岡国際会議場にて第51回日本脳神経看護学会学術集会に参加してきました。テーマが「Back to basics Society0.5の時代に脳神経看護の本質を考える」でSociety0.5とは、狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（3.0）、情報社会（4.0）に続く新たな社会を目指すもので、わが国が目指すべき未来社会の姿として内閣府が提唱しているものです。Society0.5の時代では、さまざまな人やものがインターネットとつながり知識や情報が共有されビックデータとなり、そのデータをAIが分析し様々な形で私たちにフィードバックされます。それにより新たな価値を生み出すことが出来る社会を目指しており、医療分野においても「健康寿命の延伸」を課題とし、個別化したヘルスケアにより未病ケアを強化する事が求められています。このような時代において脳神経看護もAIと融合し発展していく必要があり、私たちが対象とする「脳」は「その人らしさの源」であり全人的ケアが必須と話されていました。

講演の最後のシンポジウムでは「発症から共に歩んだ8年間～当事者の声を聞いて、話して、これからの脳神経看護を考える～」として実際に脳卒中を発症した患者・家族が演台に立ち、その時の状況や思いなど聞くことが出来ました。

今回の学会は会長が同期でもあり微力でありましたが大会サポートや同期の皆さんの発表や活動状況など多くの交流もあり実りのあった学会でした。今後も積極的に学会への参加や発表など認定としての責務に努めていきたいと思ひます。